

No. 8

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成15年度第1回)

木津川上流河道整備事業事後評価

平成15年7月17日

国土交通省 近畿地方整備局

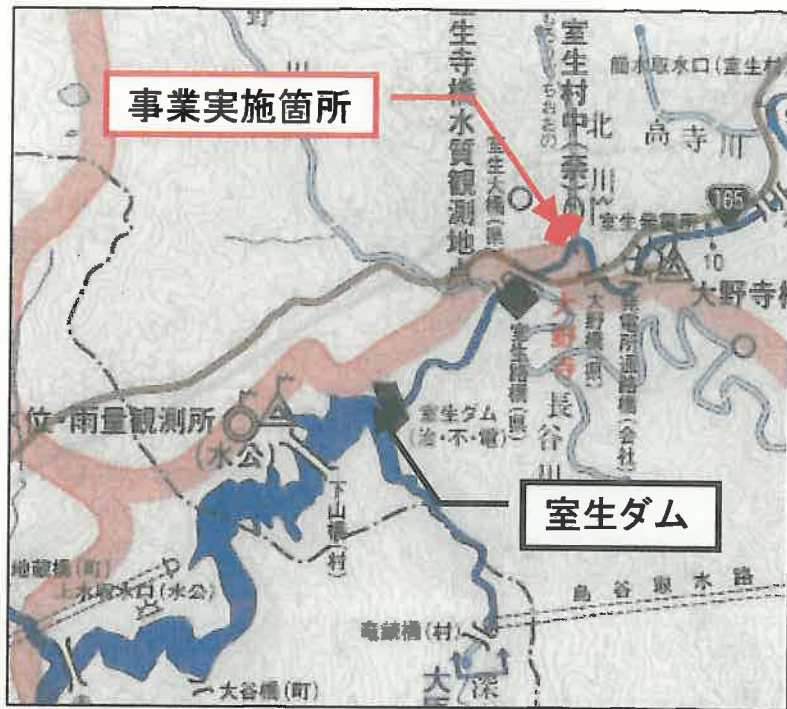
河川事業における事後評価項目表

事業名	木津川上流河道整備事業	事業区分	直轄河川環境整備事業	事業主体	国土交通省
施工場所	奈良県宇陀郡室生村大野地先	施工延長	L=82m		
事業概要	<p>河道整備事業は、環境護岸、高水敷、せせらぎ水路、散策路等の整備を行い、良好な河川環境の形成を図ることを目的としている。</p> <p>当該地区は、大野寺周辺環境整備の一環として宇陀川の護岸整備を実施したものであるが、室生村「歴史街道整備計画モデルプラン」の拠点の一つである大野地区の中心に位置し、大野寺、磨涯仏(日本一の石仏)等の観光に全国各地から多くの人が集まる場所である。</p> <p>本事業は、河川環境管理基本計画に基づき、自然環境、歴史性に配慮した豊かな河川環境空間の創出を目的として事業化している。</p> <p>また、事業箇所は室生ダムの下流に位置し、水衝部でもあることから、洗掘防止のため巨石護岸としている。</p>				
事業採択年度	平成9年度	工事着手年度	平成9年度	事業完成年度	10年度
全体事業費	146百万円				

位置図



事業実施後の状況





大野寺シダレザクラ



磨涯仏

歴史街道モデル事業

歴史街道モデル事業整備地区(メインルート)

室生村

MAURO

むろう・龍穴の里

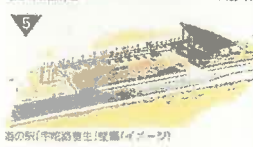
「神々が住むところ」を地名の由来とする室生には、精神文化の神髄にふさわしい日本武尊伝説や龍神伝説、善光弘法大師にまつわる逸話等が数多く残され古来より信仰・聖地として人々の心のよりどころとなってきました。

室生には「女人洞野」として名高い室生寺をはじめ、多くの文化財を有し、かつ山深い豊かな自然環境と山麓の温泉が一体となった独特の雰囲気を醸し出しています。また、伊勢街道沿いには宿場町としての名残も残っています。

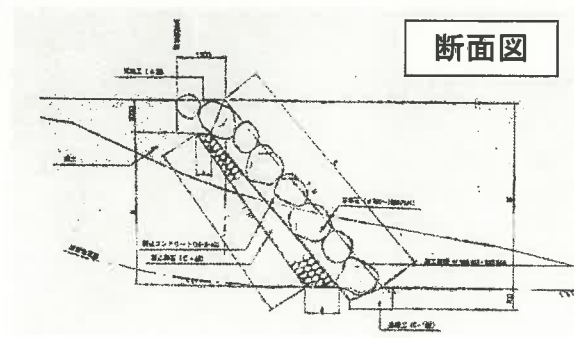
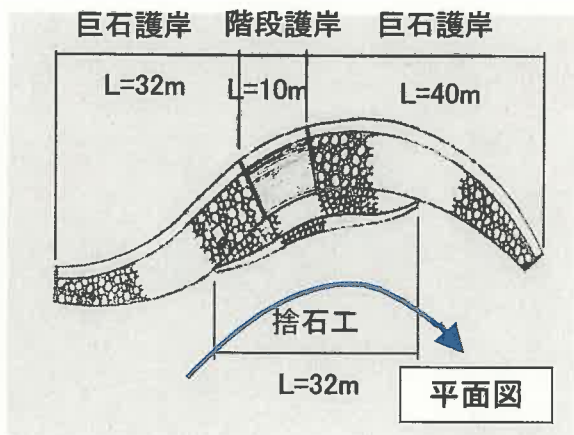
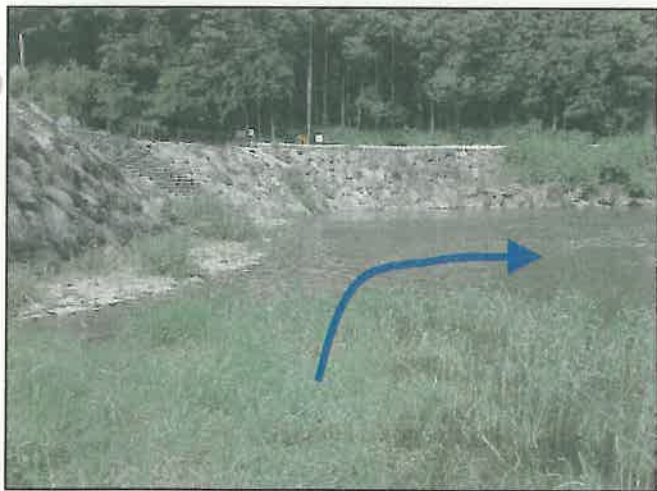
室生寺～三本松周辺



室生寺～三本松周辺



事業概要図



事業の効果の発現状況



近隣小学校による利用状況

○近隣の小学校の総合学習・理科授業への適用

事業実施箇所は、整備前に比べ水際へのアプローチが容易にできるようになり、近隣小学校の総合学習及び理科等の授業に利用されている。
 小学校3年生 総合学習(水生生物の観察学習)
 小学校5年生 理科(川の流れのはたらき)

※室生西小学校が、年間を通じて総合学習の場として利用している。H13夏季において、10回程度「川の遊び場」として利用された。

平成10年度に完成後、巨石護岸においての主な利用内容は、大野寺・磨崖仏への観光客の散策、休息、磨崖仏の写真撮影ポイント等で、観光シーズンには多くの観光客で賑わっている。

大野寺周辺の年間来客数

年度	(万人)										
	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
磨崖仏付近來訪者数	37	37	34	31	32	29	22	17	37	40	29

平成10年度に事業が完成後、近隣の旧跡等が台風の被害を受け来客数が一時的に減少したが現在は回復している。

事業実施による環境の変化

護岸前面に捨石を施工しており、魚類の生息環境に配慮している。
 また、対岸にある磨崖仏と巨石護岸との景観的な調和がとれている。

社会経済情勢の変化

事業実施箇所近隣には、平成榛原こどもの森公園(平成13年4月オープン)や道の駅(平成10年4月オープン)が整備された。



道の駅「宇陀路室生」

平成榛原こどもの森公園

今後の事業評価の必要性

当初の目的が達成されたため、今後の事業評価の必要性はない。

改善措置の必要性

当初の目的が達成されたため、当面改善措置の必要性はない。

事情実施前後

事業実施前



事業実施直後

